

平成29年長崎市観光統計



長 崎 市

・観光客数

長崎市への観光客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの観光客割合を考慮して推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の観光客数から宿泊客数を減じて算出している。

・個人客数・団体客数（一般・学生）

団体客数（一般・学生）は市内主要観光施設における団体客数（一般・学生）の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数（国・地域別）

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計（MICE件数・MICE参加人員）

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般観光客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の観光客数に乗じて算出している。

学生観光客の観光消費額は、「教育旅行年報」（日本修学旅行協会発行）における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の観光客数に乗じて算出している。

また、経済波及効果については、「長崎県産業連関表（平成23年）」に基づき長崎県内への経済波及効果を算出している。

目 次

1	平成29年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	観光客数・観光消費額の推移	6
4	月別観光客数	8
5	個人客・団体客の推移	9
6	宿泊客・日帰り客の推移	10
7	交通機関別観光客数の推移	11
8	クルーズ客船乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	20
— 参考資料 —		
1	観光客数の推移	22
2	主要観光施設の入場者数	23
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	23
4	宿泊施設の状況	24

1 平成29年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
21兆1,130億円	前年比0.8%増	(1,583億円増)	
うち宿泊旅行	16兆798億円	前年比0.3%増	(463億円増)
日帰り旅行	5兆332億円	前年比2.3%増	(1,120億円増)
日本人国内延べ旅行者数			
6億4,751万人	前年比1.0%増	(643万人増)	
うち宿泊旅行	3億2,333万人	前年比0.7%減	(233万人減)
日帰り旅行	3億2,418万人	前年比2.8%増	(876万人増)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
32,606円	前年比0.2%減	(81円減)	
うち宿泊旅行	49,732円	前年比1.0%増	(498円増)
日帰り旅行	15,526円	前年比0.5%減	(76円減)

日本人の国内旅行消費額は、前年比0.8%増の21兆1,130億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比0.7%減であったが、日帰り旅行が前年比2.8%増と好調で、全体として前年比1.0%の増加となった。

(出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査」平成29年年間値(確報)

【参考】

・台風発生数等

	平成29年	平成28年	平年値
台風発生数	27	26	25.6
台風上陸数	4	6	2.7
全国接近数	8	11	11.4
九州北部接近数	4	3	3.2

(出典) 気象庁「2017年(平成29年)の台風について」

・レギュラーガソリン店頭現金価格(全国平均)

平成26年7月14日時点で169.9円まで上昇した後、価格は下がり始め、平成27年2月9日に133.5円まで下がった。その後価格は上昇して同年7月6日に145.2円となり、平成28年3月7日に一時112.0円まで下がったものの、再び価格は上昇して平成29年1月には130円台に寄せ、その後は130円台を維持し、9月以降は徐々に上昇し、同年12月には141.5円になった。

(出典) 資源エネルギー庁「石油製品価格調査」

訪日外客数

2,869万900人 前年比19.3%増(約465.1万人増)

平成28年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年(2,403万9,700人)を19.3%上回り、過去最高となった。これは、航空路線の拡充やクルーズ船寄港数の増加、査証要件の緩和に加え、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションなど、様々な要因が訪日外客数の増加を後押ししたと考えられている。

(出典) 日本政府観光局(JNTO) 2017年年間推計値

外国人延べ宿泊者数

7,800万3,570人泊 前年比12.4%増(約861.5万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年(6,938万8,940人泊)を12.4%上回り、過去最高となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(約1,732万人泊、シェア24.1%)で、第2位以下は台湾(約1,124万人泊、シェア15.7%)、韓国(約1,093万人泊、シェア15.2%)、香港(約619万人泊、シェア8.6%)、アメリカ(479万人泊、シェア6.7%)と続き、上位5か国・地域で全体の約70%を占める。

※前年の数値は、確定値。国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で7,180万4,750人泊となっている。

(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」平成29年年間値(速報)

訪日外国人旅行消費額

4兆4,162億円 前年比17.8%増(6,686億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

15万3,921円 前年比1.3%減(1,975円減)

訪日外国人の旅行消費額は、前年(3兆7,476億円)を17.8%上回り、年間値の過去最高となった。

訪日外国人全体では増加したものの、1人あたりの旅行支出は前年を下回った。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(1兆6,947億円、シェア38.4%)、次いで台湾(5,744億円、シェア13.0%)、韓国(5,126億円、シェア11.6%)、香港(3,416億円、シェア5.7%)、アメリカ(2,503億円、シェア5.7%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の76.4%を占める。

1人当たり旅行支出は、中国が最も高く(23万円)、次いでオーストラリア(22万6千円)、イギリス(21万5千円)の順で高い。

(出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」平成29年年間値(確報)

(2) 長崎市の観光動向

観光客数

707万7,700人【過去最高】 前年比5.3%増(35万4,200人増)

①宿泊客数 255万6,900人(前年比1.6%増)

日帰り客数 452万800人(前年比7.4%増)

②個人客数 612万4,800人(前年比5.4%増)

団体客数 95万2,900人(前年比4.6%増)

〔一般団体客数 65万8,100人(前年比3.4%増)

〔学生団体客数(修学旅行生) 29万4,800人(前年比7.4%増)

外国人延べ宿泊客数

29万7,482人泊 前年比4.2%減(約1.3万人泊減)

クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数

入港数 267隻【過去最高】 前年比35.5%増(70隻増)

乗客・乗務員数 105万2,455人【過去最高】

前年比46.7%増(約33.5万人増)

〔国内クルーズ船 入港数 4隻 前年比42.9%減(3隻減)

乗客・乗務員数 2,918人

前年比47.6%減(2,647人減)

国際クルーズ船 入港数 263隻【過去最高】

前年比38.4%増(73隻増)

乗客・乗務員数 104万9,537人【過去最高】

前年比47.5%増(約33.8万人増)

観光消費額

1,458億4,615万円【過去最高】 前年比11%増(約145億円増)

経済波及効果(長崎県内)

2,237億円【過去最高】 前年比11.0%増(約222億円増)

観光客1人あたり市内観光消費額

平均 20,606円 前年比 5.5%増(1,066円増)

宿泊客 29,979円 前年比 0.9%減(266円減)

日帰り客 15,305円 前年比16.5%増(2,165円増)

平成29年の長崎市の観光客数は、過去最高であった昨年の672万3,500人を更新し、前年比35万4,200人増(5.3%増)の707万7,700人となった。

このうち日帰り客数は452万800人、宿泊客数も255万6,900人と前年を上回った。また、旅行形態別にみても、個人客数が前年比5.4%増の612万4,800人、団体客数が前年比4.6%増の95万2,900人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比1万2,904人減(4.2%減)の29万7,482人となった。国・地域別に見ると、前年と同じく上位3か国は韓国、台湾、中国となっており、3か国で約62%を占めており、アジア地域で全体の約76%を占めている。

平成29年の観光消費額は、観光客数の大幅増に伴い、前年比約145億円増(11.0%増)の1,458億4,615万円で過去最高となった。また、長崎県内への経済波及効果についても、前年比222億円増(11.0%増)の2,237億円で過去最高となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

・クルーズ客船の入港隻数増加

長崎港へのクルーズ客船の入港実績が前年比35.5%増の267隻と過去最高を記録した。これは、博多港(326隻)に次ぐ、全国第2位の入港数である。

乗客・乗務員数についても、前年比46.7%増の105万2,455人となり、過去最高を記録した。特に中国からの乗客が前年比54%増の約68.7万人と大幅に増加したほか、台湾からの乗客についても前年比360.6%増の約1.2万人となっており、アジア地域で全体の約94%を占めている。

・宿泊客数の増加

宿泊客数は、平成28年7月半ばから12月まで実施された「九州ふっこう割」のキャンペーンの反動減の影響を受けたものの、平成28年は4月の熊本地震の影響で大きく宿泊客を減らした大型連休を含む5月の宿泊客が回復したこともあり、全体として前年比1.6%増の255万6,900人となった。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		平成28年	平成29年	構成比	前年比増減
観光客数		6,723,500	7,077,700	100.0	5.3
旅行形態別	個人客数	5,812,600	6,124,800	86.5	5.4
	団体客数	910,900	952,900	13.5	4.6
	一般	636,300	658,100	9.3	3.4
	学生	274,600	294,800	4.2	7.4
宿泊の有無別	宿泊客数	2,515,700	2,556,900	36.1	1.6
	日帰り客数	4,207,800	4,520,800	63.9	7.4
交通機関別	J R	1,291,700	1,266,400	17.9	△2.0
	自動車	3,870,900	3,872,800	54.7	0.1
	船舶	879,200	1,213,600	17.2	38.0
	航空機	681,700	724,900	10.2	6.3
観光消費額		1,314	1,458		11.0
経済波及効果		2,015	2,237		11.0

3 観光客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	観光客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成 15 年	5,037,500	△ 5,700	△0.1	71,012,330	1,459,265	2.1
平成 16 年	4,934,700	△ 102,800	△2.0	68,043,311	△ 2,969,019	△4.2
平成 17 年	5,393,500	458,800	9.3	72,150,208	4,106,897	6.0
平成 18 年	5,699,300	305,800	5.7	77,721,719	5,571,511	7.7
平成 19 年	5,640,900	△ 58,400	△1.0	77,422,055	△ 299,664	△0.4
平成 20 年	5,559,500	△ 81,400	△1.4	75,890,453	△ 1,531,602	△2.0
平成 21 年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	△ 788,838	△1.0
平成 22 年	6,108,300	522,700	9.4	(81,189,235) 110,880,935	(6,087,620) 35,779,320	(8.1) 47.6
平成 23 年	5,944,700	△163,600	△2.7	(79,296,173) 109,766,697	(△1,893,062) △ 1,114,238	(△2.3) △1.0
平成 24 年	5,952,900	8,200	0.1	(80,441,679) 115,446,919	(1,145,506) 5,680,222	(1.4) 5.2
平成 25 年	6,078,000	125,100	2.1	(83,099,360) 120,320,106	(2,657,681) 4,873,187	(3.3) 4.2
平成 26 年	6,306,800	228,800	3.8	(85,527,640) 124,323,000	(2,428,280) 4,002,894	(2.9) 3.3
平成 27 年	6,693,800	387,000	6.1	(90,418,408) 136,834,458	(4,890,768) 12,511,458	(5.7) 10.1
平成 28 年	6,723,500	29,700	0.4	(85,110,651) 131,378,500	(△5,307,757) △5,455,958	(△5.9) △4.0
平成 29 年	7,077,700	354,200	5.3	(88,072,698) 145,846,150	(2,962,047) 14,467,650	34.8 11.0

※ 観光消費額は、平成 22 年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧) 平成 12 年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新) 連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額
 なお、(旧) の基礎数値にもとづく観光消費額を () で表示する。

図1 観光客数・観光消費額の推移

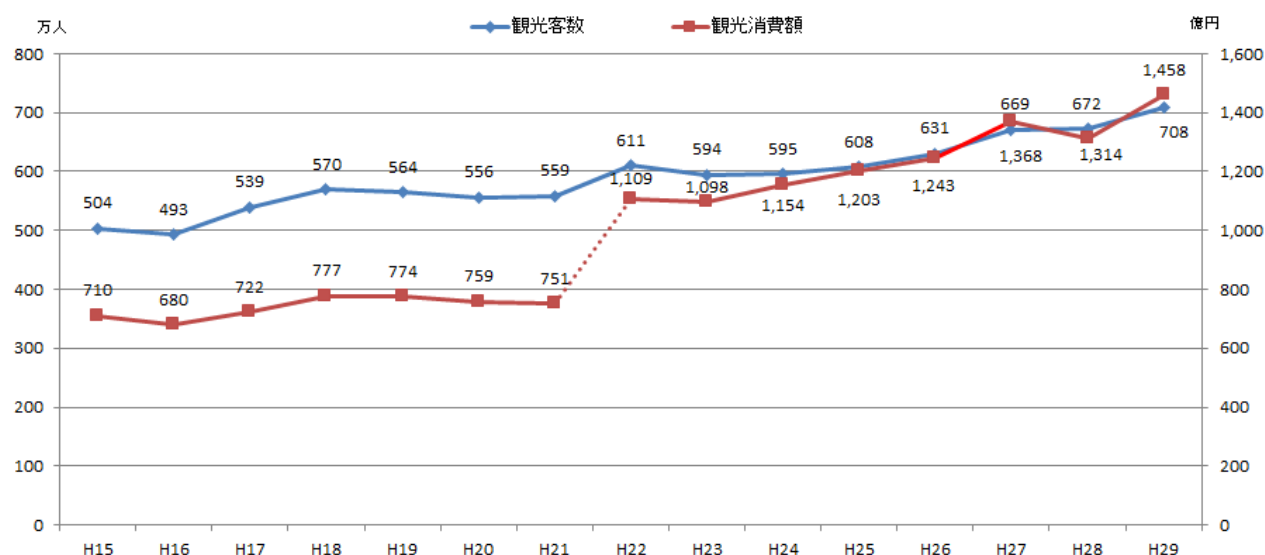
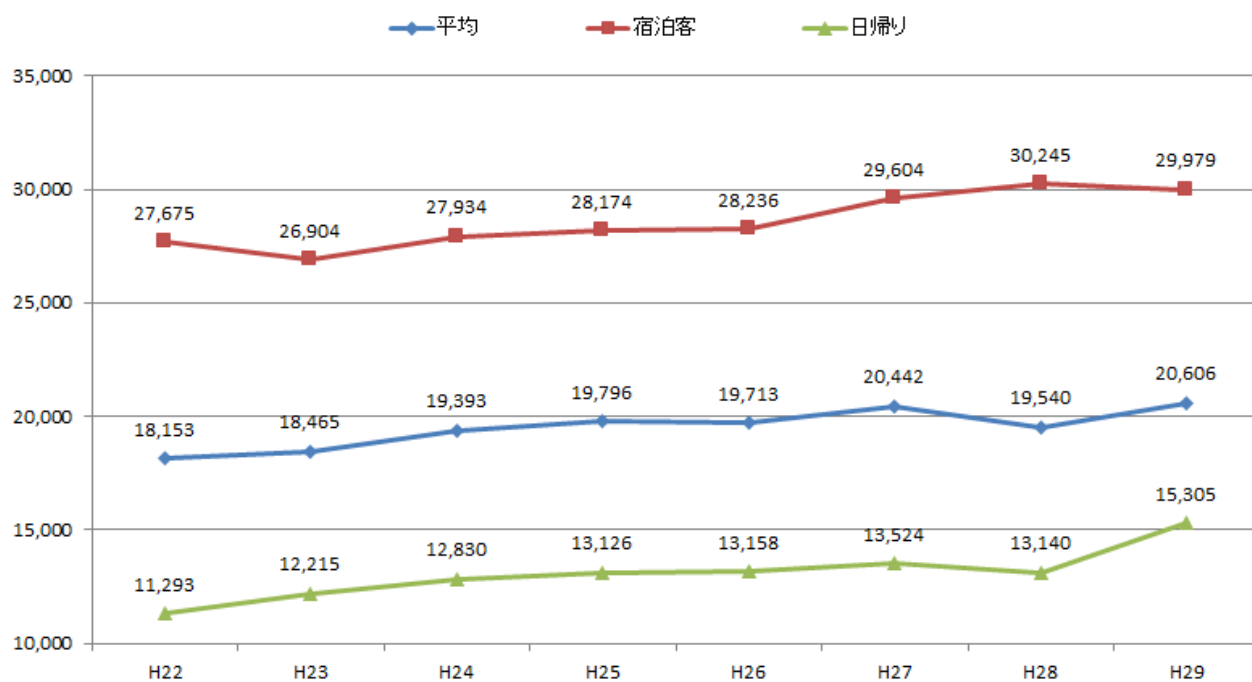


図2 平均観光消費単価の推移

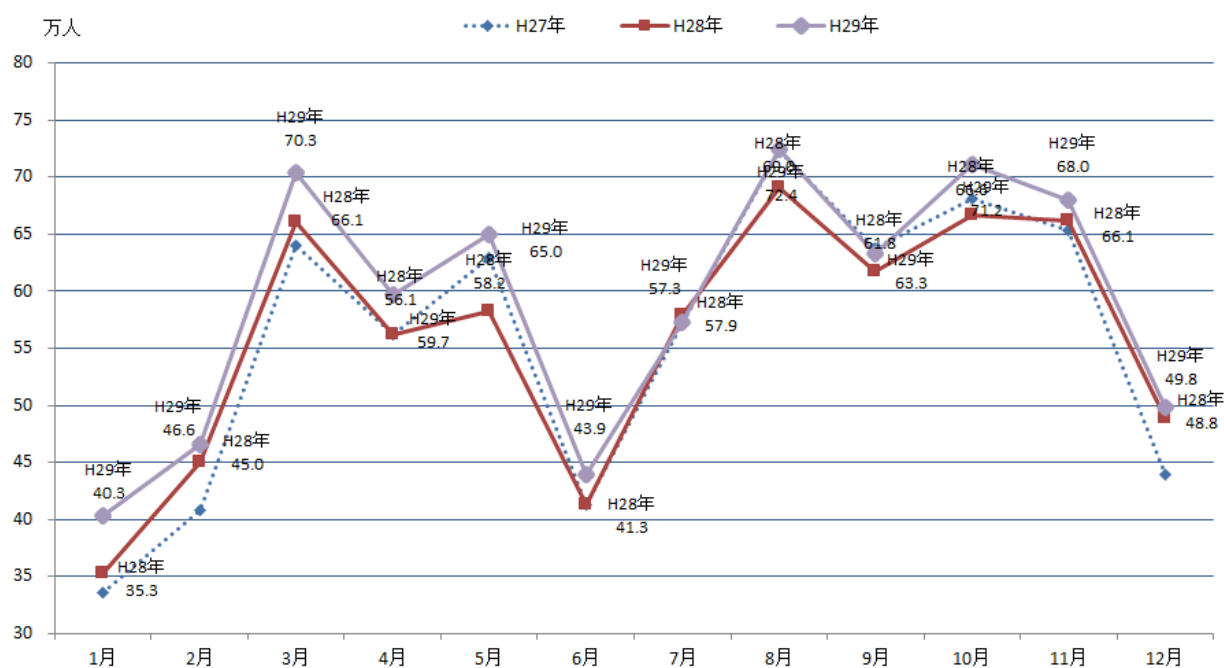


4 月別観光客数

【単位：人、％】

月	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	構成比	前年比増減
1 月	335, 800	353, 300	403, 100	5. 7	14. 1
2 月	407, 800	450, 000	465, 600	6. 6	3. 5
3 月	639, 500	660, 900	703, 400	9. 9	6. 4
4 月	562, 100	561, 400	597, 200	8. 5	6. 4
5 月	629, 500	582, 400	650, 200	9. 2	11. 6
6 月	412, 600	412, 600	439, 100	6. 2	6. 4
7 月	571, 700	578, 800	572, 600	8. 1	△1. 1
8 月	723, 200	690, 400	724, 300	10. 2	4. 9
9 月	638, 200	617, 800	632, 500	8. 9	2. 4
10 月	681, 300	666, 300	711, 500	10. 1	6. 8
11 月	653, 200	661, 300	680, 100	9. 6	2. 8
12 月	438, 900	488, 300	498, 100	7. 0	2. 0
計	6, 693, 800	6, 723, 500	7, 077, 700	100. 0	5. 3

図3 月別観光客数の推移

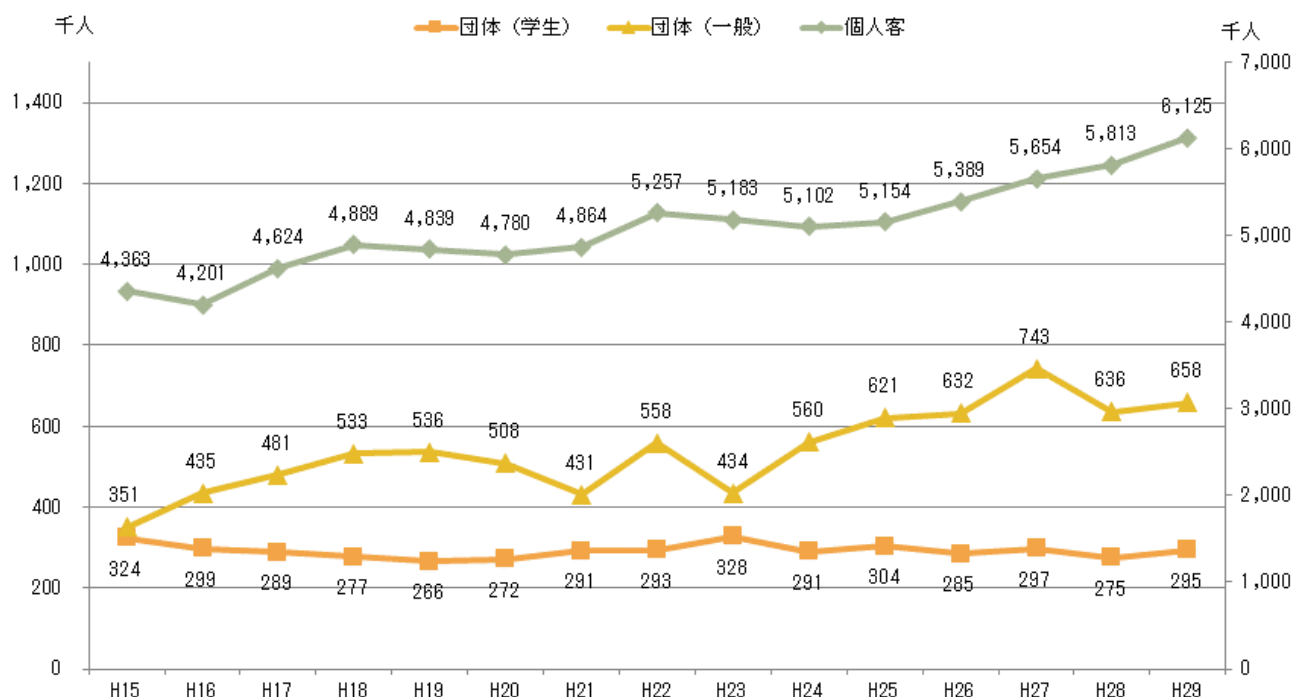


5 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成15年	4,362,700	2.7	674,800	△15.0	350,500	△15.9	324,300	△14.0
平成16年	4,200,800	△3.7	733,900	8.8	435,400	24.2	298,500	△8.0
平成17年	4,624,300	10.1	769,200	4.8	480,500	10.4	288,700	△3.3
平成18年	4,889,300	5.7	810,000	5.3	533,000	10.9	277,000	△4.1
平成19年	4,839,000	△1.0	801,900	△1.0	535,500	0.5	266,400	△3.8
平成20年	4,779,800	△1.2	779,700	△2.8	508,000	△5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	△7.4	430,500	△15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	△1.4	761,800	△10.5	434,000	△22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	△1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	△11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	△0.7	632,200	1.9	285,200	△6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	△12.4	636,300	△14.3	274,600	△7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4

図4 個人客・団体客の推移

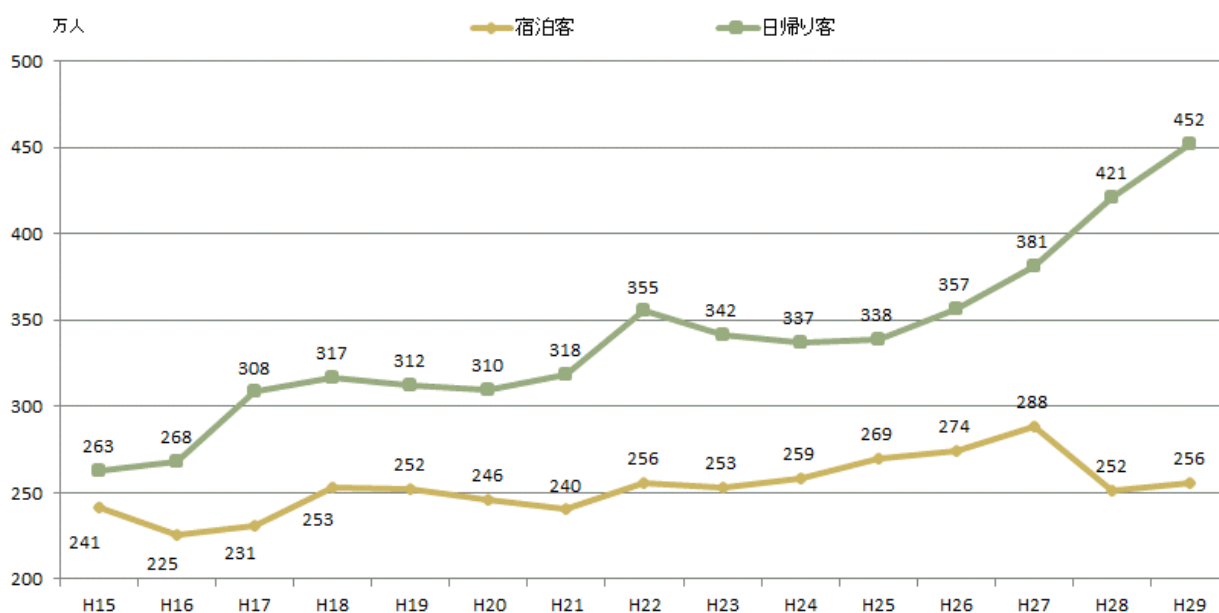


6 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	前年比増減	構成比	人数	前年比増減	構成比
平成 15 年	2,412,000	3.0	47.9	2,625,500	△2.8	52.1
平成 16 年	2,253,700	△6.6	45.7	2,681,000	2.1	54.3
平成 17 年	2,311,400	2.6	42.9	3,082,100	15.0	57.1
平成 18 年	2,533,600	9.6	44.5	3,165,700	2.7	55.5
平成 19 年	2,521,500	△0.5	44.7	3,119,400	△1.5	55.3
平成 20 年	2,460,100	△2.4	44.3	3,099,400	△0.6	55.7
平成 21 年	2,401,700	△2.4	43.0	3,183,900	2.7	57.0
平成 22 年	2,557,700	6.5	41.9	3,550,600	11.5	58.1
平成 23 年	2,529,300	△1.1	42.5	3,415,400	△3.8	57.5
平成 24 年	2,586,800	2.3	43.5	3,366,100	△1.4	56.5
平成 25 年	2,694,100	4.1	44.3	3,383,900	0.5	55.7
平成 26 年	2,741,500	1.8	43.5	3,565,300	5.4	56.5
平成 27 年	2,879,800	5.0	43.0	3,814,000	7.0	57.0
平成 28 年	2,515,700	△12.6	37.4	4,207,800	10.3	62.6
平成 29 年	2,556,900	1.6	36.1	4,520,800	7.4	63.9

図5 宿泊客・日帰り客の推移

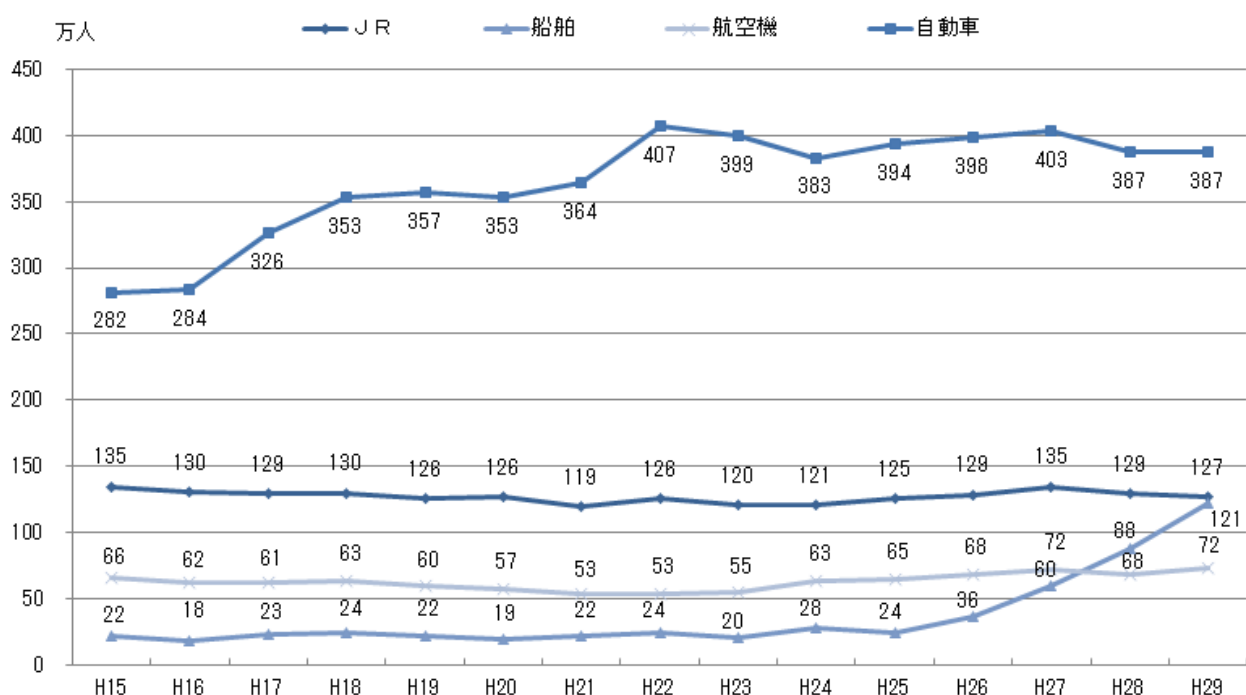


7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

年	ＪＲ		自動車		船舶		航空機	
	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減	観光客数	前年比増減
平成 15 年	1,346,800	△1.1	2,815,500	△0.2	216,200	5.8	659,000	0.6
平成 16 年	1,302,300	△3.3	2,836,300	0.7	179,600	△16.9	616,500	△6.4
平成 17 年	1,294,600	△0.6	3,258,400	14.9	225,900	25.8	614,600	△0.3
平成 18 年	1,297,500	0.2	3,530,100	8.3	239,200	5.9	632,500	2.9
平成 19 年	1,260,200	△2.9	3,566,000	1.0	219,400	△8.3	595,300	△5.9
平成 20 年	1,262,500	0.2	3,533,800	△0.9	191,400	△12.8	571,800	△3.9
平成 21 年	1,191,600	△5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	△6.8
平成 22 年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	△0.4
平成 23 年	1,201,900	△4.6	3,994,900	△2.0	198,300	△18.1	549,600	3.5
平成 24 年	1,207,900	0.5	3,832,000	△4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成 25 年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	△15.0	648,900	2.2
平成 26 年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成 27 年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成 28 年	1,291,700	△4.2	3,870,900	△3.9	879,200	46.4	681,700	△4.9
平成 29 年	1,266,400	△2.0	3,872,800	0.1	1,213,600	38.0	724,900	6.3

図 6 交通機関別観光客数の推移



8 クルーズ客船乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	131 隻	434,543	197 隻	717,288	267 隻	1,052,455	46.7

(2) 国内クルーズ客船乗客・乗務員数

【単位：人、％】

	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	2 隻	1,585	7 隻	5,565	4 隻	2,918	△47.6

(3) 国際クルーズ客船乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

順位	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比
1	中国	244,657	中国	446,366	中国	687,386	89.6
2	台湾	16,734	アメリカ	13,453	日本	13,652	1.8
3	日本	12,568	日本	12,738	アメリカ	13,495	1.8
4	オーストラリア	7,152	カナダ	9,728	台湾	11,589	1.5
5	香港	6,068	オーストラリア	8,120	オーストラリア	7,623	1.0
－	その他	26,135	その他	30,856	その他	33,311	4.3
計	－	313,314	－	521,261	－	767,056	100.0

② 乗務員数

【単位：人】

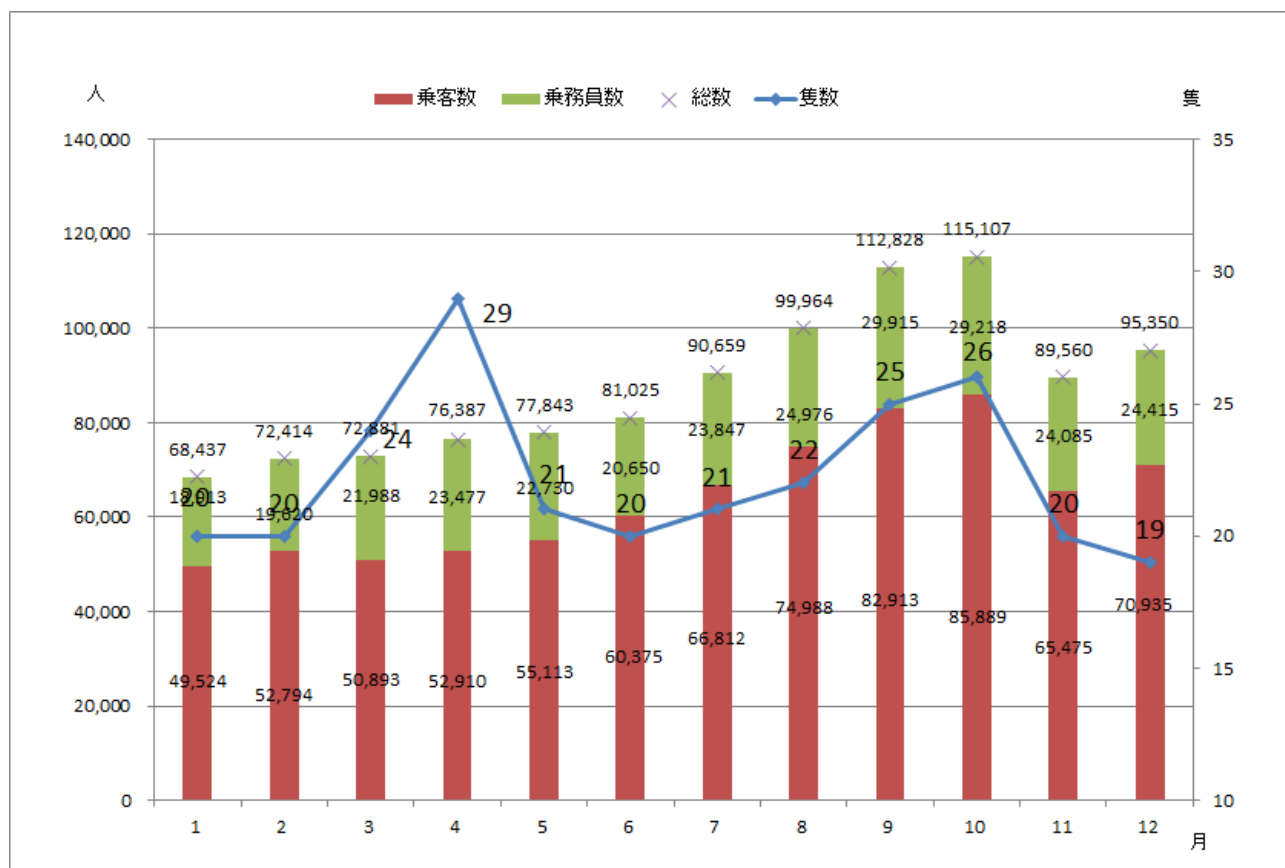
	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	前年比増減
計	－	119,644	－	190,462	－	282,481	48.3

乗客・乗務員数(①+②)

【単位：人、％】

	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		
	隻 数	推 計	隻 数	推 計	隻 数	推 計	前年比増減
計	129 隻	432,958	190 隻	711,723	263 隻	1,049,537	47.5

図 7 月別クルーズ客船入港隻数・乗客・乗務員数

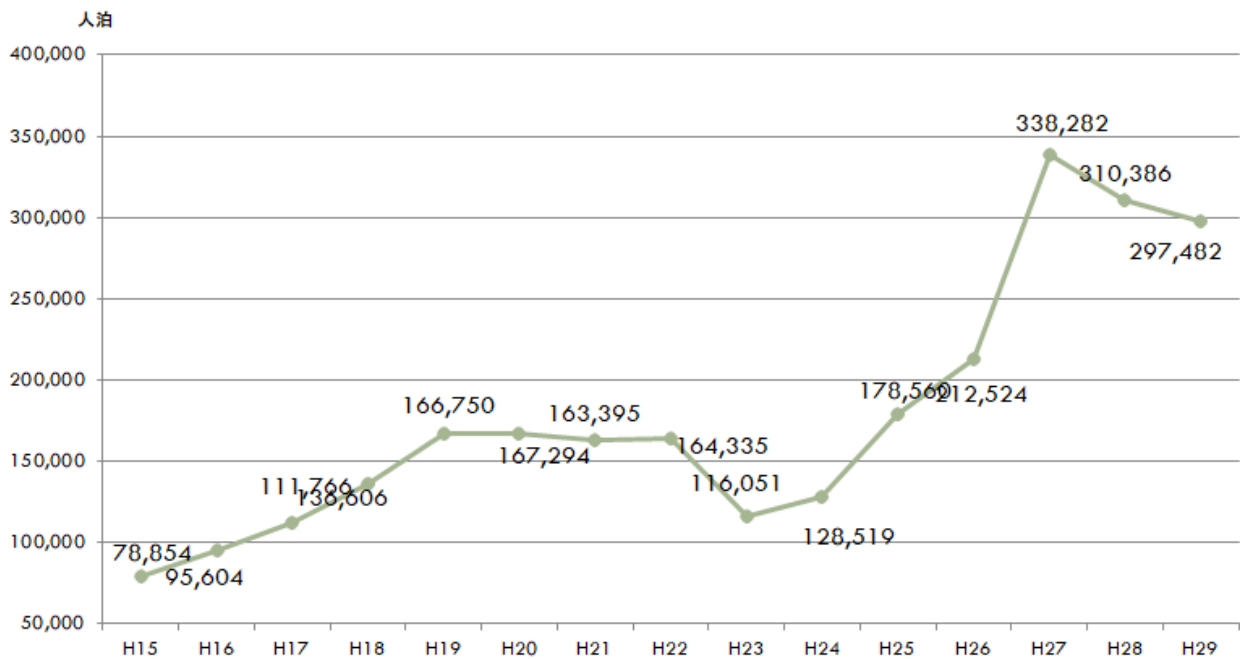


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成 15 年	78,854	5.3
平成 16 年	95,604	21.2
平成 17 年	111,766	16.9
平成 18 年	136,606	22.2
平成 19 年	166,750	22.1
平成 20 年	167,294	0.3
平成 21 年	163,395	△ 2.3
平成 22 年	164,335	0.6
平成 23 年	116,051	△ 29.4
平成 24 年	128,519	10.7
平成 25 年	178,560	38.9
平成 26 年	212,524	19.0
平成 27 年	338,282	59.2
平成 28 年	310,386	△ 8.2
平成 29 年	297,482	△ 4.2

図 8 外国人延べ宿泊者数の推移

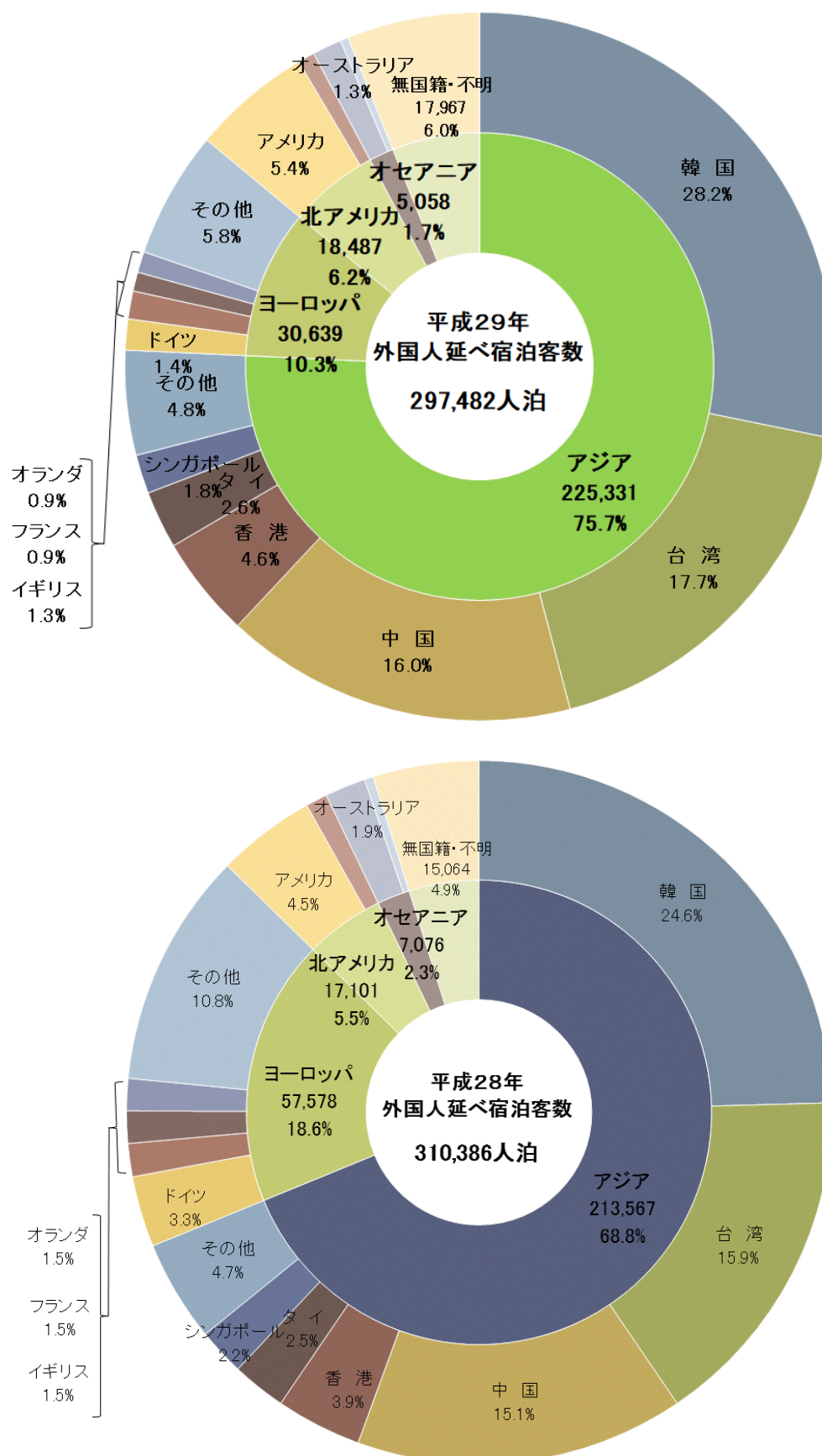


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年			
	国・地域	推 計	国・地域	推 計	国・地域	推 計	構成比	前年比増減
1	韓国	95,289	韓国	76,262	韓国	83,920	28.2	10.0
2	台湾	48,906	台湾	49,444	台湾	52,604	17.7	6.4
3	中国	41,487	中国	46,797	中国	47,745	16.1	2.0
4	アメリカ	11,584	アメリカ	14,029	アメリカ	16,197	5.4	15.5
5	タイ	10,970	香港	12,198	香港	13,746	4.6	12.7
6	シンガポール	9,421	ドイツ	10,119	タイ	7,831	2.6	1.7
7	香港	8,569	タイ	7,698	シンガポール	5,265	1.8	△21.5
8	オーストラリア	4,472	シンガポール	6,704	フィリピン	4,903	1.7	8.9
9	イギリス	4,308	オーストラリア	5,804	ドイツ	4,194	1.4	△58.6
10	フランス	3,141	イギリス	4,718	オーストラリア	3,957	1.3	△31.8
11	ドイツ	2,901	フランス	4,594	イギリス	3,778	1.3	△19.9
12	マレーシア	2,506	オランダ	4,594	オランダ	2,826	1.0	△38.5
13	オランダ	2,502	フィリピン	4,501	フランス	2,588	0.9	△43.7
14	カナダ	2,234	カナダ	2,483	インドネシア	2,326	0.8	59.4
15	フィリピン	1,515	ノルウェー	2,452	カナダ	1,993	0.7	△19.7
－	その他	88,477	その他	57,989	その他	43,609	14.5	△24.8
計		338,282		310,386		297,482	100.0	△4.2

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



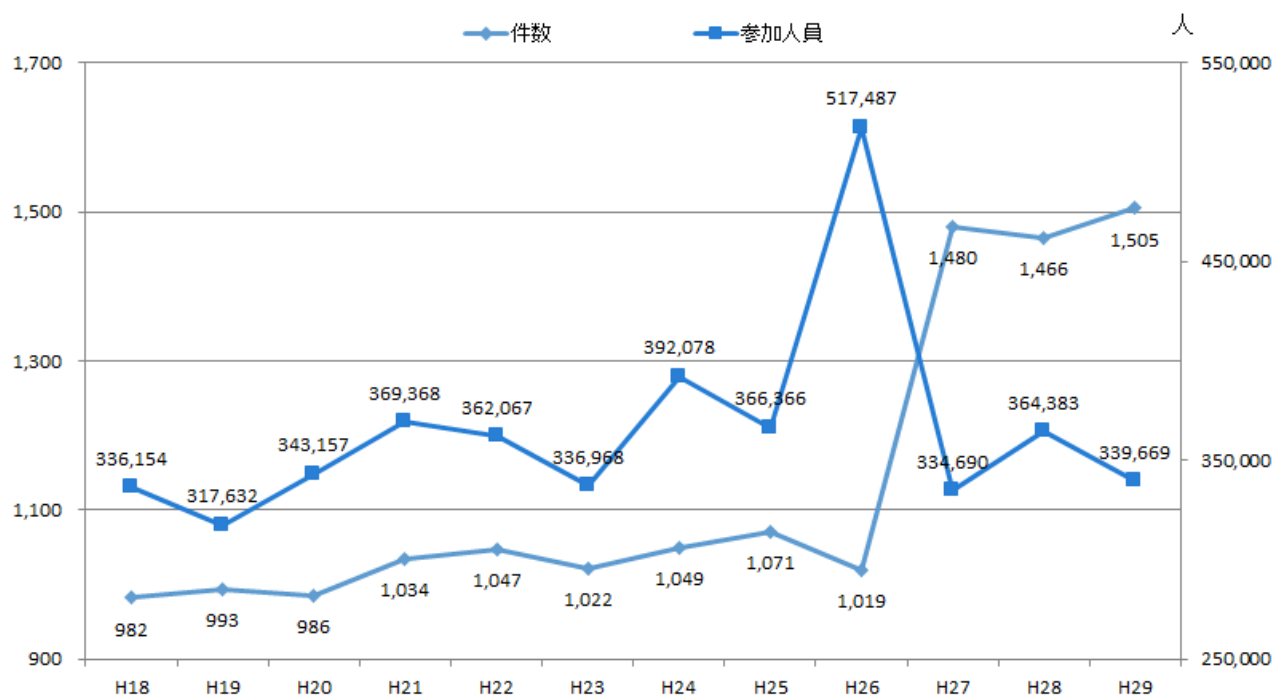
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	うちスポーツ コンベンション	参加人員	うちスポーツ コンベンション
平成 18 年	982	—	336,154	—
平成 19 年	993	—	317,632	—
平成 20 年	986	—	343,157	—
平成 21 年	1,034	—	369,368	—
平成 22 年	1,047	—	362,067	—
平成 23 年	1,022	—	336,968	—
平成 24 年	1,049	304	392,078	201,889
平成 25 年	1,071	303	366,366	188,239
平成 26 年	1,019	222	517,487	360,228
平成 27 年	1,480	234	334,690	135,460
平成 28 年	1,466	249	364,383	176,300
平成 29 年	1,505	291	339,669	152,377

図 10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

【単位：件、％】

規模（人数ベース）	件数			
	平成 28 年	平成 29 年	構成比	前年比増減
100 人未満	716	769	51.1	53
100 人以上 ～ 300 人未満	476	451	30.0	△25
300 人以上 ～ 500 人未満	113	127	8.4	14
500 人以上 ～ 1,000 人未満	94	90	6.0	△4
1,000 人以上 ～ 2,000 人未満	46	40	2.6	△6
2,000 人以上	21	28	1.9	7
計	1,466	1,505	100.0	39

【単位：件、人、％】

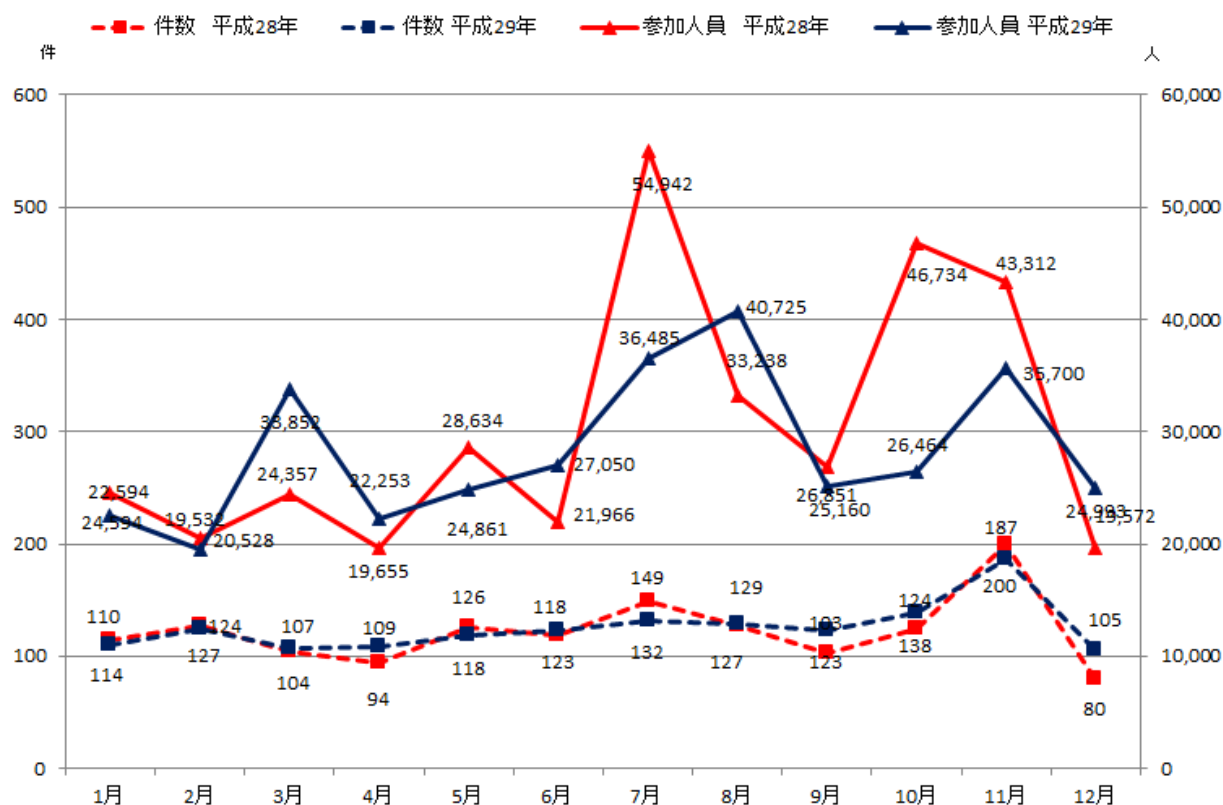
規模	件数				参加人員			
	平成 28 年	平成 29 年	構成比	前年比増減	平成 28 年	平成 29 年	構成比	前年比増減
県内大会	1,068	1,073	71.3	5	217,624	220,513	64.9	2,839
九州大会	193	208	13.8	15	54,205	49,199	14.5	△5,006
西日本大会	18	17	1.1	△1	4,617	4,242	1.2	△375
全国大会	172	190	12.7	18	78,453	52,603	15.5	△25,850
国際大会	15	17	1.1	2	9,434	13,112	3.9	3,678
計	1,466	1,505	100.0	39	364,383	339,669	100.0	△24,714

(3) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	平成 28 年	平成 29 年	構成比	平成 28 年	平成 29 年	構成比
1 月	114	110	7.3	24,594	22,594	6.6
2 月	127	124	8.2	20,528	19,532	5.8
3 月	104	107	7.1	24,357	33,852	10.0
4 月	94	109	7.2	19,655	22,253	6.5
5 月	126	118	7.8	28,634	24,861	7.3
6 月	118	123	8.2	21,966	27,050	8.0
7 月	149	132	8.8	54,942	36,485	10.7
8 月	127	129	8.6	33,238	40,725	12.0
9 月	103	123	8.2	26,851	25,160	7.4
10 月	124	138	9.2	46,734	26,464	7.8
11 月	200	187	12.4	43,312	35,700	10.5
12 月	80	105	7.0	19,572	24,993	7.4
計	1,466	1,505	100.0	364,383	339,669	100.0

図 11 月別の開催件数及び参加人員



12 経済波及効果

直接効果から間接２次波及効果までを合計した総合効果２，２３７億円が、「平成２９年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）１，２９１億円の約１．７３倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

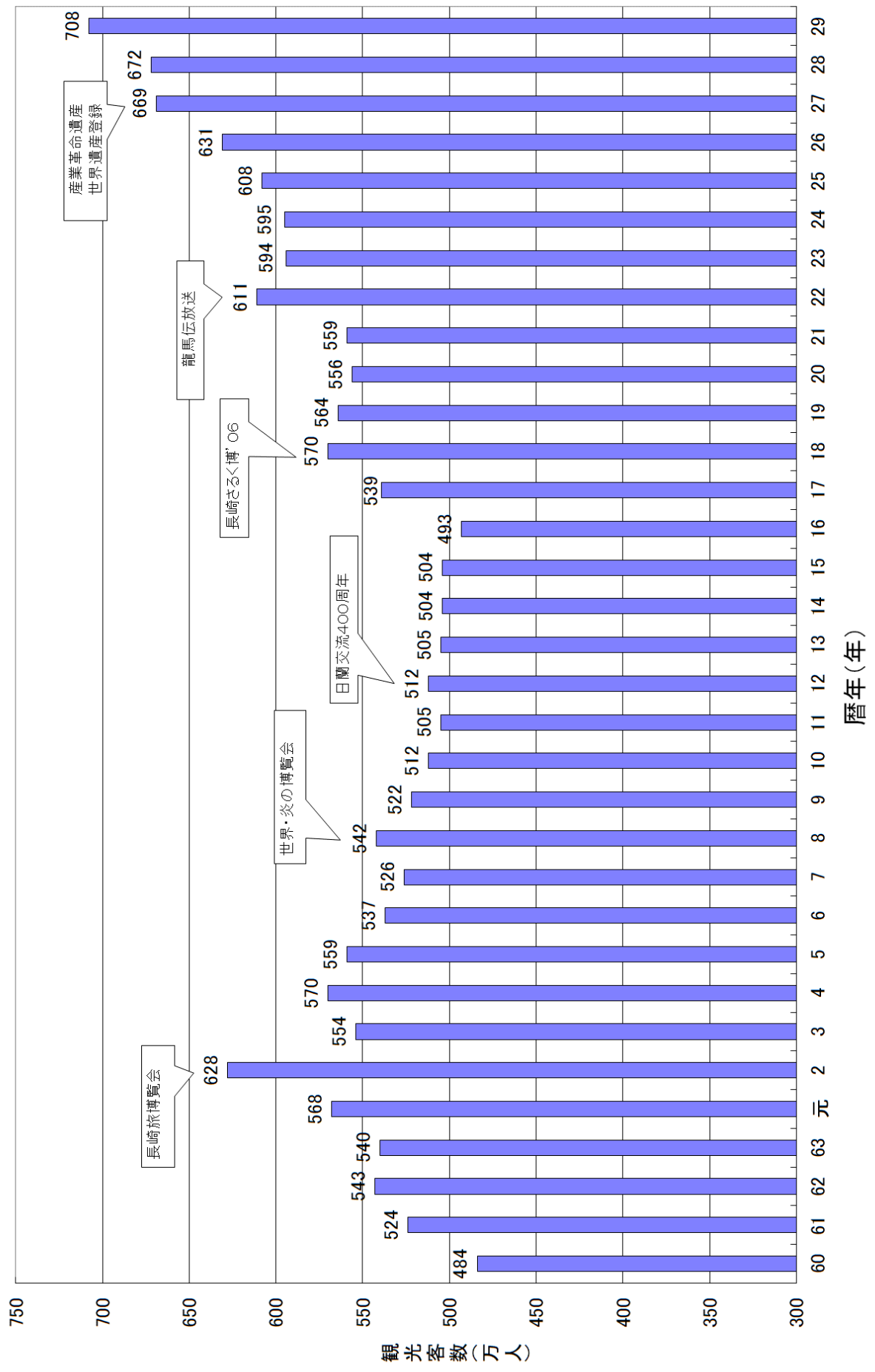
雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で３２，６９３人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食店（１６，３９７人）」、「宿泊業（５，７０９人）」「商業（３，３７５人）」、である。

【単位：億円、人、％】

項目	平成 28 年	平成 29 年	前年比増減
総合効果（①+②）	2,015	2,237	11.0
直接効果…①	1,161	1,291	11.2
飲食店	680	826	21.5
宿泊業	278	243	△12.6
商業ほか	203	222	△9.4
波及効果…②	854	946	10.8
間接１次波及効果	492	542	10.2
間接２次波及効果	362	404	11.6
就業誘発効果（就業者誘発数）	29,036	32,693	12.6

参 考 資 料

1 観光客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	前年比増減
グラバー園	1,192,038	1,013,646	1,005,343	△0.8
出島	443,384	404,788	500,345	23.6
原爆資料館	737,994	678,856	711,324	4.8
計	2,373,416	2,097,290	2,217,012	5.7

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：万人、％】

イベント名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	92.0	90.0	94.0	4.4
長崎帆船まつり	21.8	4.9	21.2	332.7
計	113.8	94.9	115.2	21.4

※ 平成30年の長崎ランタンフェスティバルの集客数は、後夜祭を含めた17日間で106万人（平成29年比12.8％増）となり過去最高。

(2) 経済波及効果

【単位：億円、％】

イベント名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	90.4	87.8	93.9	0.7
長崎帆船まつり	7.8	2.2	9.6	336.4
計	98.2	90.0	103.5	15.0

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員（平成29年4月1日現在）

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	27	106	2,558	106	2,770	586	4,881	599	6,066
旅館	36	641	79	53	773	2,483	132	280	2,895
ビジネスホテル	27	59	2,200	8	2,267	194	3,060	37	3,291
民宿・ ペンション	37	248	53	19	320	559	81	35	675
ユースホステル ・ホステル	6	27	23	10	60	109	129	45	283
公営宿泊施設 ・保養所	15	96	224	20	340	464	1,083	128	1,675
計	148	1,177	5,137	216	6,530	4,395	9,366	1,124	14,885

(2) 種別・規模別の宿泊施設数（平成29年4月1日現在）

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 200人未満	200人以上 300人未満	300人以上 400人未満	400人以上 500人未満	500人以上	計
ホテル	3	4	6	6	6	1	1	27
旅館	23	7	2	1	1	1	1	36
ビジネスホテル	7	9	6	3	1	1	0	27
民宿・ ペンション	34	3	0	0	0	0	0	37
ユースホステル ・ホステル	4	2	0	0	0	0	0	6
公営宿泊施設 ・保養所	7	2	1	4	0	0	1	15
計	78	27	15	14	8	3	3	148

平成 2 9 年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-0031

長崎市桜町 4-1（長崎商工会館 4 階）

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：平成 3 0 年 6 月



長 崎 市